

## 山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	混合型肝癌に関する臨床病理学的・分子生物学的検討に関する九州肝臓外科研究会多施設共同研究		
② 実施予定期間	2018年8月20日から2021年03月31日 (当院では倫理審査委員会承認後に開始します)		
③ 対象患者	④の対象期間中に当院で混合型肝臓による治療を受けられた患者さん		
④ 対象期間	2000年01月01日から2016年12月31日 (倫理審査委員会承認日までのデータを提供します。)		
⑤ 研究機関の名称	別添参照		
⑥ 対象診療科	消化器・腫瘍外科		
⑦ 研究責任者	氏名	永野 浩昭	所属 消化器・腫瘍外科学
⑧ 使用する試料・情報等	<p>A) 症例基本情報：手術時年齢、性別、生年月、身長、体重など。</p> <p>B) 臨床病理・手術関連情報：術前補助療法の有無、WBC、CRP、Alb、T-bil、PT、ICG15分値、AFP、AFP-L3、PIVKA-II、CEA、CA19-9、最大腫瘍径、腫瘍個数、腫瘍部位、術前造影CT画像の造影パターン、手術日、手術術式、手術時間、出血量、輸血の有無、合併症の有無、病理診断結果など。</p> <p>C) 治療経過：術後補助化学療法の有無、再発部位・個数・治療など再発情報、無再発生存期間、全生存期間など。</p> <p>D) 病理組織標本：当科で保管している癌部および非癌部巢の未染プレパラートまたはブロック</p>		
⑨ 研究の概要	<p>混合型肝癌は非常に稀な肝臓癌でその特徴に不明な点が多いのが現状です。今回の研究では、九州肝臓外科研究会の多施設共同研究として、混合型肝癌切除例を集積して、その臨床病理学的・分子生物学的特徴を検討する事を目的としています。今回の研究により、混合型肝癌の分子生物学的検討を広く行うことで、新たな治療の開発や治療の個別化が可能となり、適切な治療選択や薬物の開発に寄与することが予想されます。本研究では、診療記録（カルテ）から得られる情報と、以前に切除し院内に保存してある病理標本（既に診断等に使用されたものです）を熊本大学に送付し、免疫組織化学染色や遺伝子発現の解析に利用させていただきます。</p>		
⑩ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2018年11月28日	

⑪ 研究計画書等の 閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。 詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	熊本大学大学院消化器外科学に帰属します。		
⑮ 研究の資金源	熊本大学大学院消化器外科学の研究費（運営費交付金・科学研究費）		
⑯ 利益相反	ありません		
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 消化器・腫瘍外科 担当者：中島 正夫		
	電話	0836-22-2264	FAX 0836-22-2263

## 研究組織

## 研究代表者

熊本大学大学院生命科学研究部  
馬場 秀夫 消化器外科学 教授

## 研究参加施設と研究責任者

長崎大学	移植・消化器外科	江口 晋
国立病院機構 長崎医療センター	外科	藤岡 ひかる
久留米大学	肝胆膵外科	奥田 康司
九州大学大学院	消化器・総合外科	吉住 朋晴
宮崎大学	肝胆膵外科	七島 篤志
佐賀県医療センター好生館	消化器外科	北原 賢二
大分大学	消化器・小児外科	太田 正之
鹿児島大学	消化器・乳腺・甲状腺外科	迫田 雅彦
山鹿市民医療センター	外科	別府 透
琉球大学	消化器・腫瘍外科	白石 祐之
国立病院機構 九州医療センター	肝胆膵外科	高見 裕子
福岡大学	消化器外科	石井 文規
佐賀大学	一般・消化器外科	井手 貴雄
山口大学	消化器・腫瘍外科	永野 浩昭
佐賀大学	診断病理学	相島 慎一